

# さんあい だより

2009

冬号

vol. 3

- P2 ……三愛会ニュース  
・最新マルチスライスCTを導入、一般病棟増床など  
・平成20年度 わたしたちの取り組みを振り返って
- P3 ……三愛病院における医療安全対策
- P4 ……特集「毎朝5分簡単スロートレーニング」
- P6 ……損をしないための制度活用法  
「妊婦検診費用の助成」



表紙写真 秋田県 湯沢市

## 医療法人三愛会の理念

私たちが  
めざすこと

地域の皆様に安心・信頼される組織をつくり、  
「患者さん本位の医療と介護サービスの統合」(経営理念)をめざします。

私たちが  
こころがける  
こと

三つの愛(三愛精神)

- 一、患者さんへのいたわりの愛
- 一、職員相互のおもいやりの愛
- 一、地域社会への奉仕愛

をモットーに、患者さんの権利とプライバシーの尊重、質の高い医療介護サービスを心がけます。

# 医療法人 三愛会



**\*病院**

**整形外科 三愛病院(入院、手術、一部の外来)**



\* (財)日本医療機能評価機構認定病院

診療科目: 整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科・麻酔科

診療時間: 月曜日～土曜日(日曜、祝日休診)

午前 9:00～12:30

午後 14:00～18:00(土曜日は17:00まで)

〒890-0065 鹿児島市郡元三丁目14番7号

**TEL 099-252-6622**

**\*診療所**

**三愛クリニック(総合外来、リハビリテーション)**

診療科目: 整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科

診療時間: 月曜日～土曜日(日曜、祝日休診)

午前 9:00～12:30

午後 14:00～18:00(土曜日は17:00まで)

リハビリ受付時間: 午前 12:00まで

午後 17:30まで(土曜日は16:30まで)

〒890-0065 鹿児島市郡元三丁目3番7号

**TEL 099-812-6433**

**\*診療所**

**尾辻岩井内科消化器科**

診療科目: 内科・消化器科・循環器科・呼吸器科

診療時間: 月曜日～土曜日(日曜、祝日休診)

午前 9:00～13:00

午後 14:00～18:00(土曜日は午後休診)

〒892-0817 鹿児島市小川町18番11号

**TEL 099-222-6020**

**\*通所介護サービス**

**デイサービスセンターさんあい**

〒890-0065 鹿児島市郡元三丁目3番7号

**TEL 099-812-1181**

**\*訪問看護サービス**

**訪問看護ステーション ポプラ**

〒890-0065 鹿児島市郡元三丁目14番7号

**TEL 099-252-7391**

**\*訪問介護サービス**

**ヘルパーステーション 三愛**

〒890-0065 鹿児島市郡元三丁目14番7号

TEL 099-250-3585

**フリーダイヤル 0120-868373**

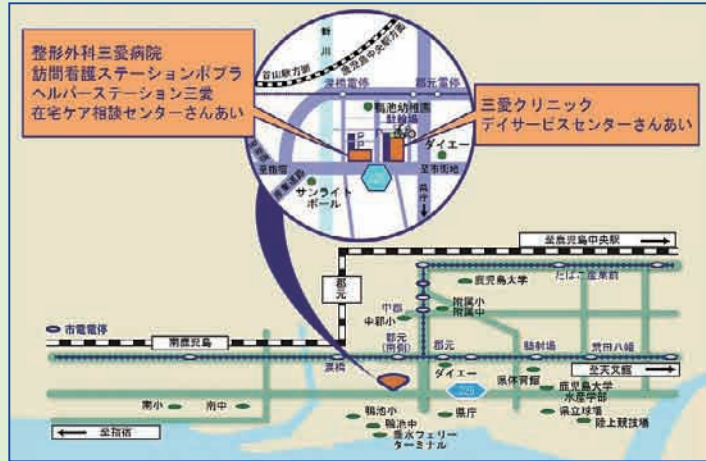
**\*居宅介護支援サービス**

**在宅ケア相談センター さんあい**

〒890-0065 鹿児島市郡元三丁目14番7号

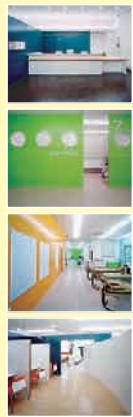
TEL 099-252-2803

**フリーダイヤル 0120-313102**



<http://www.sanaikai.or.jp>

**トピックス**



三愛クリニックの建築デザインが  
segd2008 design awards  
"Design Awards This Years Winners"  
を受賞しました。



**ライフケアコーポレーション有限公司 医療法人三愛会グループ関連会社**

介護付き有料老人ホーム  
**ボルベール石燈籠**  
VOLVER IZURO

●南埠頭 ●北埠頭 桜島橋

【お問い合わせ先】  
〒892-0822 鹿児島市泉町13-5  
TEL 099-221-5722 FAX 099-221-5715  
フリーダイヤル: 0120-011933  
<http://www.volver-izuro.com>



# 整形外科三愛病院における医療安全対策

相次ぐ医療事故が報道されています。厚生労働省での研究報告調査では、入院患者の6.8%で有害事象が生じていることが報告されています。有害事象を可能な限り低減させ、かつ有害事象から患者さんの生命を守るために全力を尽くすことは医療にかかわるすべての人々の責務と考えています。国を挙げて医療安全全国共同行動プロジェクトが展開されていますが、8つの目標として下表(表1)があげられています。

<表1>

## 医療安全全国共同行動の8つの目標

1. 危険薬の誤投与防止
2. 周術期肺塞栓症の防止
3. 危険手技の安全な実施
4. 医療関連感染症の防止
5. 医療機器の安全な操作と管理
6. 急変時の迅速対応
7. 事例要因分析から改善へ
8. 患者・市民の医療参加

今回は、普段あまり表にでませんが、現在当院で実施しております安全への取り組みの一部につきましてご紹介させていただきます。

## 1. エコノミークラス症候群(深部静脈血栓症、肺塞栓症)の予防

整形外科の手術、とくに下肢の手術では足が動かせないことなどにより静脈のうっ滞が起こることで血栓(=血の塊)が形成され、これが肺にとび突然呼吸困難や胸痛が生じるときに命にかかわることがあります。これを肺塞栓症とよび、症状の肺塞栓症は術後約1%に発生すると言われています。

当院では静脈のうっ滞が起こらないよう、患者様に応じ足を間歇的に空気圧迫する装置の使用、血がサラサラになる薬の投与、また採血や下肢静脈のエコー検査で血栓の存在を調べたりして致死的な肺塞栓症の発症を予防しています。

## 2. 院内感染対策

病気を患う患者様は感染症にかかりやすく、感染症が起こり治療に抗生物質を用いると、お薬の効かないMRSAをはじめ

とした、いわゆる薬剤耐性菌が出現しこれが病院に定着します。これら薬剤耐性菌は、風邪や結核のように空気を介してうつることはなく、多くは医療従事者の手指や医療器具を介した接触にて伝播するとされており、また患者様で検出されたとしてもほとんどは症状を呈さない保菌状態で治療を要しません。しかし術後や低栄養状態などの抵抗力が弱い状態になりますと難治性の感染症を引き起こします。

当院では院内感染対策委員会にて耐性菌の検出状況のチェック、マニュアルの作成による手指衛生の徹底、効率的なシステムの構築による伝播予防を行い耐性菌が広がらないための対策や、手術患者様へのMRSA保菌チェック、感染予防薬の使用、また耐性菌をつくらない適切な抗生物質の使用を行い院内感染対策に努めています。

## 3. 急変時の適切な対応

当院には高齢者の患者様が多数入院されています。多くの方が高血圧、糖尿病、脂質異常症などの動脈硬化のリスクとなる生活習慣病をもっています。入院治療中に狭心症や心筋梗塞、大血管の病気などの心臓病イベントが起こらないとも限りません。

三愛グループでは、自動体外式除細動器(AED)、ペースメーカー機能つき除細動器、人工呼吸器、救急カートなどの機材の整備や、また毎年職員を対象にした心肺蘇生講習会を行い、急変時に適切な対応が行えるように備えています。

## 4. 医療安全管理室の設置、インシデントレポートの報告

アメリカの保険会社で副部長をしていたハインリッヒが1929年に次のような事実を報告しました。「重傷」以上の災害が1件あったら、その背後には、29件の「軽傷」を伴う災害が起こっており、300件もの傷害につながる可能性があった災害が起きている。これが「ハインリッヒの法則」です。

ここで述べられている「重傷」や「軽傷」などの傷害がアクシデントであり、「傷害につながる可能性があった災害」がインシデ

ントです。この教訓は航空機事故や医療事故に対する予防対策として生かされています。

## 医療事故の

ほとんどが、ヒューマンエラー(人間がおかす誤り)に関連するものです。当院では重大事故の発生はありませんが、ヒューマンエラーは、システムや医療環境の欠陥によってもたらされた「結果」であるという認識に立ち、「傷害につながる可能性があった災害」をインシデントレポートとして現場から報告を行う事で、情報を共有し医療安全管理室を中心に検討、改善に取り組んでいます。

医療過程で生じる有害事象には本来回避可能なものと不可避のものがあります。従って医療行為とは、行為においてベストを尽くすものではありませんが、結果まで保証できるものではありません。しかし、はやく元気になりたいと思われる患者様の思いも安全な医療を提供したいという私たちの思いと共通するものと思います。私たちは患者様中心のより安全な医療を提供し、患者様を含めた医療従事者全体のチーム医療に取り組んで生きたいと考えております。

今後とも当施設利用者の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 当院に導入されている医療機器

体外式除細動器



人工呼吸器



自動体外式除細動器 (AED)

AEDは整形外科三愛病院、三愛クリニック、尾辻岩井内科消化器科、ポルベール石燈籠に設置しております。



川村 英樹  
(整形外科三愛病院 医師)  
日本麻酔科学会 認定医  
日本環境感染学会  
インフェクション・  
コントロールドクター

## 最新マルチスライスCTの導入・一般病棟増床など

この度、整形外科三愛病院は、一般病棟を16床増床し病院全体で60床から76床となりました。また、リハビリテーション室の拡張、最新のマルチスライスCTの導入を行い、急性期の患者様をより多く受け入れら



れるような体制へと充実を図りました。新設したCTは、4断面を一度に撮影し瞬時に画像を得られ、従来のCTに比べ撮影時間は30分程度と短く、患者様のご負担を軽減しております。



平成  
20年度

## わたしたちの取り組みを振り返って

医療法人三愛会の職員は、患者様及びご利用者様に安心して療養・介護サービスをお受けいただけるようまた、安全な医療・介護をさせていただけるよう、様々な法人内外の研修に参加し日々研鑽に努めております。

また、職員間のコミュニケーションを円滑に行い働きやすい職場環境づくりにも取り組んでおります。

今回は、平成20年度の法人内で行った研修の取り組みをご紹介します。

今後も私共の経営理念「患者さん本位の医療と介護サービスの統合」を目指し、また三愛精神の「いたわり、おもいやり、奉仕愛」を皆様にお届けできるよう努めてまいりたいと思います。

2月	管理職研修	管理職としてのマネジメントスキル
3月	医療安全研修	心肺蘇生を兼ねたAEDの手順
4月	管理職研修	人事考課者訓練
	◆三愛会グループ ボウリング大会	
5月	新入職者研修	新入職員オリエンテーション「三愛会の一員として」
	職員接遇研修	部門別接遇マニュアルを活用したロールプレイング
6月	感染対策研修	“イケてるッ”病院になるための感染対策を目指して
	避難訓練（病院）	夜間火災発生想定・水消火器実施訓練・ビデオ研修
	避難訓練（クリニック）	日中火災発生想定・水消火器実施訓練
8月	管理職研修	管理職としてのマネジメントスキル
	◆三愛会グループ ビアパーティー	
10月	医療安全研修	緊急事態想定訓練 “病棟における患者急変時対応”
	感染対策研修	正しい手洗い方法&手指消毒
	管理職研修	人事考課者訓練
11月	避難訓練（病院）	夜間火災発生想定・水消火器実施訓練
	避難訓練（クリニック）	日中火災発生想定・水消火器実施訓練
	労働安全研修	健康教室 “医療人としての禁煙のすすめ方” “禁煙治療の新薬情報”
	倫理研修	いま、医療の現場にある私たちに求められる倫理的姿勢
	◆おはら祭り	
12月	個人情報研修	個人情報保護法とは何か
	◆三愛会グループ 忘年会	

